



アルファベットの**大文字**と**小文字**



寿都小学校は、アルファベットの**大文字**と**小文字**を1年生から学んでいます。1・2年生では、アルファベットの**大文字**と**小文字**を使って遊びながら学びます。興味を持たせてアルファベットに触れることがねらいです。3・4年生ではアルファベットの**大文字**や**小文字**を改めて学び、アルファベットを使ってやりとりをします。5・6年生になると、読む・書く学習が入ります。5年生では、アルファベットの**大文字**の読み書きをします。書く学習では、自分の名字は、**大文字**で書くことを学びます。さらに、6年生になると**小文字**の書き方を学び、身の回りにある身近な英語の言葉を写して書いたり、提示される言葉を見て英語で答えたりするなどします。

平成32年度から英語が教科となり、他の学校でも同様の学習が行われていきます。今まで中学校で学習していたアルファベットを小学生で学ぶようになります。それを寿都町の子どもたちがすでに学習しているというのは、素晴らしいことですね。

6年生「**読んだい書きたいしよう**」

**名前、はじめは大文字で、
他は小文字**

**名前については、姓・名の順番で。
名字は、大文字で**

学校名は、写して書きました

6年生は、すでに5年生の時にアルファベットの大文字を学習しています。

この前、小文字の学習を行いました。左の写真は、○○ ○○○君の家庭学習です。とてもきれいに家庭学習ノートにまとめています。大変素晴らしいです。自分でノートに英語の罫線を引き、赤線も描いています。そこに学習したことをもう一度復習していました。

この写真にあるように、6年生になると自分の名前は、アルファベットで書くことができるようになります。そして、文字への関心が高まり身近にある簡単な英語の言葉もアルファベットから推測して読めるようになってきます。英語に親しむことが大切なのです。

以前、英語の目標を立てる時に6年生の○○○○君が次のように言っていました。「身の回りにある英語を読めるようになりたい」と。英語は身の回りに溢れていますね。それが読めるようになるということは世界が広がりますね。

